

令和3年度

越谷市環境白書

越谷市環境管理計画年次報告書



イオンレイクタウン Act Green ECO WEEK 2020 「SDGs パネル展示」

はじめに

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれていたことから、「水郷こしがや」と呼ばれてきました。江戸時代には日光街道第三の宿場町としてにぎわいをみせ、今もその名残をとどめるなど、豊かな自然と歴史が融合したまちです。

本市では、公害の防止や、自然資源・快適環境の保全・創造を図るため、昭和58年に、全国の自治体に先駆けて「越谷市環境管理計画」を策定し、その後、社会の情勢や環境の変化に対応するため、都度改定を重ねております。

平成23年度から令和2年度までの計画においては、望ましい環境像「未来へつなげよう、地球と人にやさしいまち こしがや」の実現に向け、生活環境、温暖化防止、資源循環、緑、生物多様性など多くの分野で取り組みを進めてまいりました。

この「越谷市環境白書」は、このような環境分野全般の取り組みについて、令和2年度の実績をまとめるとともに、越谷市環境管理計画の年次報告書として、本市の環境施策の進捗状況を掲載しております。

また、令和3年4月には、脱炭素をはじめ、プラスチック廃棄物処理、気候変動による気象災害など、新たな課題に対応するため、令和12年度までを計画期間とする新たな環境管理計画を策定したところです。望ましい環境像を「みんなで創ろう 越谷の豊かな環境と未来」とし、今後は、新たな計画に基づき、国際目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念を踏まえ、行政・市民・事業者の協働により、環境施策を一層推進してまいります。

本書が、多くの皆様に広く活用され、身近な環境に対してさらに関心を深めていただくとともに、環境に配慮した行動を実践する一助となれば幸いです。

令和3年10月

越谷市長 高橋 努

